



「黒塚」発信プロジェクト

「黒塚」上映会+トークセッション開催

昨年の「黒と朱」に続き、今年度制作の映像作品「黒と光」が
ついにお披露目となります！

京の都から東北へ。仕える公家の娘の病を治すために胎児の生き肝を得る旅に出た乳母・岩手。流れついた奥州・安達が原で目的を果たします。しかし、殺めた妊婦が持っていたお守りから、己が手を下したのは京に残してきた実の娘の愛衣と知り…。狂気のあまり鬼婆と姿を変え、安達ヶ原で人を喰らっていた鬼婆は、後に旅の僧侶・東光坊祐慶と仏の力によって成仏。葬られた地は「黒塚」と呼ばれるようになりました。福島県二本松市（元・安達郡大平村）を舞台とする安達ヶ原の鬼婆の伝説は、地方と大都市圏の供給、消費の関係、中央から東北への眼差しをも暗示させます。

また安達ヶ原の鬼婆伝説に取材した能の演目「黒塚」の糸車に示されるように、時間をテーマとし、決して引き返すことの出来ない血筋を断ち切った「悲しみ」を含んでいます。

「黒塚」発信プロジェクトは、このような「黒塚」の伝説・伝承をテーマに、東北の精神性・風土を探究するものです。

2014年、2015年。「黒塚」発信プロジェクトから、二人の表現者による二つの映像作品が生まれました。

- ・ 2014年— コンテンポラリーダンサー・平山素子主演《KUROZUKA 黒と朱》
- ・ 2015年— 舞踏家・大野慶人主演《KUROZUKA 黒と光》

「黒と朱」は、岩手とその娘・恋衣のイメージから制作され、「黒と光」は、鬼婆と東光坊祐慶のイメージから生まれました。

2014年度に完成した《KUROZUKA 黒と朱》と初披露となる《KUROZUKA 黒と光》のダブル上映会と、多様なジャンルから「黒塚」にアプローチするトークセッションを開催します。福島への、東北への思いと問いが凝縮した「黒塚」の世界。是非目撃してください。

本活動を広く知っていただきたく、広報のご協力をよろしくお願い申し上げます。

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel. 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当: 小林、高橋、馬場



「黒塚」上映会+トークセッション

【開催日】

平成28年2月21日（日）

【開催時間】

14:00~16:30

【会場】

フォーラム福島4
(福島県福島市曾根田6-4)

【入場料】

無料

【お申込み】

不要



【上映会】



《KUROZUKA 黒と朱》

主演・舞踏：平山素子（コンテンポラリーダンサー）

映像監督：高明

音楽：野島健太郎

企画・美術：渡邊晃一

制作年：2014年

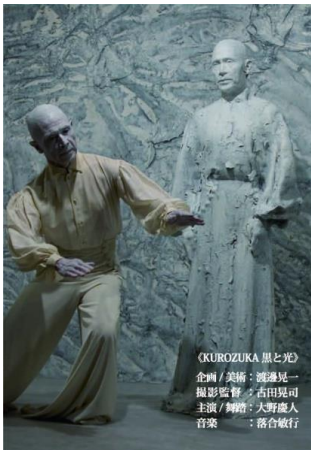
はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当: 小林、高橋、馬場



≪KUROZUKA 黒と光≫

主演・舞踏：大野慶人（舞踏家）

映像監督：古田晃司

音楽：落合敏行

企画・美術：渡邊晃一

制作年：2015年

《KUROZUKA 黒と光》
企画／美術：渡邊晃一
撮影監督：古田晃司
主演／舞踏：大野慶人
音楽：落合敏行

【トークセッション「黒塚」】

出演：東雅夫（文芸評論家／「幽」編集顧問）

和合亮一（詩人）

懸田弘訓（伝統芸能研究者／福島県民俗芸能学会調査団団長）

鈴木裕美子（福島大学教授／舞踊研究者）

モデレーター：渡邊晃一（福島大学教授／美術家）

■第1部

表現としての黒塚-伝説・文学・芸能

東雅夫×渡邊晃一

■第2部

交差する視線-黒塚から

東雅夫×和合亮一×懸田弘訓×鈴木裕美子

モデレータ：渡邊晃一

【主催】

はま・なか・あいづ 文化連携プロジェクト実行委員会

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト詳細はこちら→<http://hamanakaaiizu.jp/>

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会

事務局 〒965-0807 会津若松市城東町1-25(福島県立博物館内)

Tel 0242-28-6067 もしくは 0242-28-6000(福島県立博物館代表)

Fax 0242-28-5986

担当:小林、高橋、馬場